

水稻作況試験情報 【令和3年産 普通期栽培】

香川県農業試験場（7月21日現在）

7月以降、最高気温は平年並みであった。7月2半旬の降水量は、平年に比べかなり多く、7月1, 2半旬の日照時間は少なかった。田植30日後の生育については、草丈は、過去5か年の平均値に比べてコシヒカリ、ヒノヒカリでやや長く、おいでまいで長かった。茎数は、おいでまいは平年並み、コシヒカリでやや少なく、ヒノヒカリで少なかった。主稈葉数は、3品種ともやや少なかった。

1. 作況試験の方法

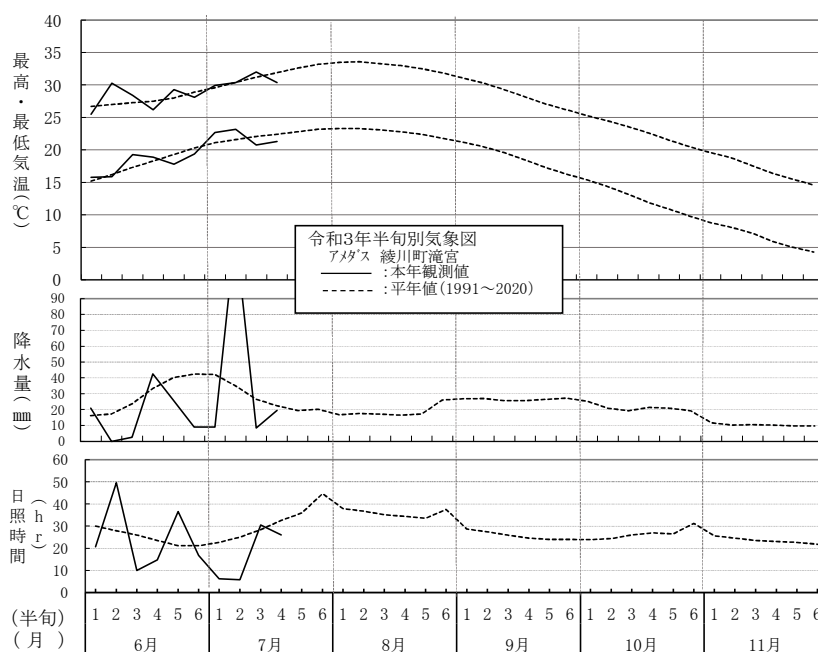
- 1) 供試品種：コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまい
- 2) 播種期：5月31日 移植期：6月21日
- 3) 育苗方法：播種後、加温出芽させ、その後露地育苗した。
- 4) 栽植密度及び移植方法
18.5 株/m² (30 cm×18 cm)、1株4本程度、機械移植
なお、生育調査株は移植直後1株4本に調整した。
- 5) 本田施肥 (N成分kg/a)

	基肥	穂肥 I (予定)	穂肥 II (予定)
コシヒカリ	0.3	0.15	0.10
ヒノヒカリ	0.5	0.25	0.15
おいでまい	0.5	0.25	0.15

- 6) 使用肥料：化成肥料 (N : P₂O₅ : K₂O = 14 : 10 : 12%)
- 7) 1区面積及び区制 1区 250 m² (コシヒカリ 500 m²)、2反復

2. 具体的データ

令和3年産水稻 気象表 (7月4半旬まで)



注) 7月2半旬の降水量は、131.5mmであった。

令和3年産 水稻作況試験生育調査結果(7月21日現在)

調査 (月/日)	供試品種 項目	コシヒカリ			ヒノヒカリ			おいでまい		
		本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)
移植時 (6/21)	草丈(cm)	17.2	13.9	3.3	13.0	11.6	1.4	12.6	11.5	1.1
	主稈葉数(枚)	2.3	2.5	▲ 0.2	2.4	2.6	▲ 0.2	2.4	2.7	▲ 0.3
田植20日後 (7/11)	草丈(cm)	41.1	37.2	3.9	32.1	30.7	1.4	34.1	32.9	1.2
	莖数(本/m ²)	261	210	24 %	230	252	▲ 9 %	296	273	8 %
	主稈葉数(枚)	7.3	7.4	▲ 0.1	7.3	7.7	▲ 0.4	7.4	7.7	▲ 0.3
田植30日後 (7/21)	草丈(cm)	58.5	55.8	2.7	50.3	47.7	2.6	52.1	45.8	6.3
	莖数(本/m ²)	464	479	▲ 3 %	459	532	▲ 14 %	618	621	0 %
	主稈葉数(枚)	9.4	9.8	▲ 0.4	9.4	9.9	▲ 0.5	9.6	10.2	▲ 0.6
田植40日後 (7/31)	草丈(cm)		74.1			68.0			65.28	
	莖数(本/m ²)		516	%		576	%		695.2	%
	主稈葉数(枚)		11.3			11.4			12.0	
播種期(月/日)		5/31	5/30	1	5/31	5/30	1	5/31	5/30	1
移植期(月/日)		6/21	6/19	2	6/21	6/19	2	6/21	6/19	2
幼穂形成始期(月/日)			7/27			8/6			8/7	
出穂期(月/日)			8/14			8/26			8/27	
主稈止葉葉位(枚)			13.1			14.3			15.2	
穂数(本/m ²)			397	%		389	%		414	%
稈長(cm)			84.0			79.2			77.2	
穂長(cm)			17.8			17.7			18.9	
成熟期(月/日)			9/18			10/6			10/6	

注1)コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまいの差は過去5か年平均との比較で示した。

注2)莖数・穂数については対比(増減%)で表し、これ以外の項目については対差(実数値)で表した。なお▲は少ない、短い、早いことを示す。